費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	10,920,567	損益計算書に計上した費用の額：10,920,567 前払費用：10,598,743（事務所借料10,159,540、自賠責保険料439,203） たな卸資産の費用計上額：321,824（郵便切手232,224、収入印紙89,600）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	10,920,567	
会計基準第81第3項による振替額		942,218,171	○中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81第３項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化
合計		953,138,738	

⑤　平成23年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0	―（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	―（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	5,947,610,274	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：11,663,785,104（貸倒引当金繰入33,487,239は、運営費交付金収益の計算外） （役職員人件費：3,086,059,015、減価償却費：349,556,138、諸謝金：70,859,654、旅費交通費：122,750,468、消耗品費：243,468,987、印刷製本費：170,363,833、通信運搬費：140,136,379、賃借料：703,403,017、業務委託費：828,683,095、光熱水料：31,883,029、雑給：332,534,386、修繕費：43,472,229、療護業務委託費：2,343,387,989、介護料支給費：3,094,217,905、福利厚生費：4,046,885、消費税等：42,566,300、支払利息：6,527,540、その他：49,868,255） イ）自己収入に係る収益計上額：2,260,248,353 （運行管理者等指導講習手数料収入：788,318,087、適性診断手数料収入：1,438,809,540、業務雑収入：20,916,110、受取利息：1,677,294、その他雑益：10,527,322） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 費用11,663,785,104－減価償却費349,556,138－介護料支給業務補助金収益3,094,217,905－施設整備費収益37,982,829－支払利息6,527,540＋支払リース料43,400,568－収益計上額2,260,248,353－過年度分運営費交付金収益11,042,633＝5,947,610,274 ④資産見返運営費交付金：349,058,731 （療護センター建物：16,369,500、療護センター機器：92,384,128、業務用器具備品：142,583,979、業務用車両：46,880,124、適性診断用ソフトウェア等：50,841,000） ⑤資本剰余金：1,977,698（敷金・保証金）
	資産見返運営費交付金	349,058,731	
	資本剰余金	1,977,698	
	計	6,298,646,703	
会計基準第81第3項による振替額		845,067,297	○中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81第３項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化
合計		7,143,714,000	